



より良い未来を共に築く、持続可能なまちづくりへの挑戦

過去最大! **1051億円**

輝勢会の要望により、まちづくりが前進!

令和8年度予算を可決しました

令和7年3月26日、2月定例会が閉会し、令和8年度予算が可決されました。一般会計695億円、特別会計356億円、合計1051億円と過去最大規模の予算となります。無駄を省き、市民の暮らしに直結する社会保障と、未来への投資とのバランスを十分に考慮しながら、確実な予算執行を求めてまいります。

輝勢会の主要要望に関連する予算

こども・子育て

8億7332万円

給食無償化・負担軽減事業費

市内在住の3~5歳児の保育所等給食費について9月分から無償化(負担軽減)
公立中学校の無償化を継続するとともに公立小学校でも4月より無償化

学校環境改善事業費・他

熱中症対策として市立小中学校に冷水機の配置を実施
学校のプール学習を市立プール活用に一部切り替え

…など

健康福祉

2470万円

AIxフレイル予防運動教室・eスポーツ介護予防事業費
AIを活用したフレイル予防運動教室やeスポーツに関する取り組みを実施

電子版母子手帳導入費

スマートフォン等による電子母子手帳の導入で妊娠届時や
健診時の事前入力など便利に使える

…など

防犯・防災

3557万円

防災対策費

避難所の衛生環境保全のため携帯トイレの配備と、給水車2台の購入

危機管理センター整備基本計画策定費

庁舎に併設する危機管理センターの整備に向けた基本計画の策定

…など

公共施設整備等

19億9699万円

地域まちづくりセンター整備費・草津川跡地整備・他

まちづくりセンター建設、ロクハ公園プール再整備などの諸費

協同労働推進費

担い手不足などの地域課題解決や活性化に向けた働き方の普及啓発

…など

歴史文化

2億9519万円

史跡草津宿本陣整備・30周年記念事業費・他

本市を代表する歴史資産(草津宿本陣・芦浦観音寺跡)の保存と普及啓発
(仮称)歴史資料館の用地取得と建築・展示の基本設計

…など

産業振興

7020万円

ディステーションキャンペーン推進費

JRグループ6社とともに観光コンテンツの創出・強化を行う

スマート農業推進事業補助金

持続可能な農業を実現するためスマート農機等の導入を支援

…など



2月定例会では会派代表質問ならびに一般質問で6名の会派メンバーが登壇しました

会派 代表質問

福田茂雄 ●令和8年度当初予算概要について ●安全・安心のまちづくりについて ●生活支援・福祉・教育・人権施策について ●未来戦略の推進について ●歴史文化の継承、スポーツ魅力の向上について ●総合的なまちづくりについて ●地球温暖化対策と自然環境保全について ●子育て支援・教育の充実について ●健康福祉について ●本市におけるDX推進について ●人権が尊重されるまちづくりについて

小野元嗣 ●草津市クリーンセンターについて
●緑化フェア事業の開催について
●大学がある都市の優位性をさらに活かすまちづくりについて 他

中嶋昭雄 ●草津用水土地改良区運営資金貸付と草津用水土地改良区
の健全な運営について
●文化財を活かしたまちづくりと歴史資料館の整備について

中嶋美徳 ●都市計画について
●まちづくりセンター建替について
●消防団詰め所移転について

横江政則 ●「在宅サービスの重要性和健康都市くさつ」等に関
することについて

服部利比郎 ●令和8年度予算に計上されている「協同労働推進費」
について



質問の映像は
こちらから

輝勢会活動レポート

会派行政視察（高松市・新居浜市・今治市）



香川県高松市 「中心市街地活性化事業」

人口減少や郊外型商業施設の進出などにより、中心市街地のにぎわい創出や回遊性の向上が課題となる中、官民が連携しながら、商業機能や交流機能、公共空間の魅力向上を通じた中心市街地活性化に取り組まれています。商店街を軸としたまちづくりに加え、公共施設や広場の活用、イベント開催、居心地が良く、歩きたくなる都市空間づくりを進めることで、来訪者の増加と滞在時間の延伸、地域経済の活性化につなげておられました。こうした高松市の取組について、事業の経緯や狙い、民間活力の導入方法、実際の効果や課題を調査し、本市における中心市街地のにぎわい創出や地域資源を活かしたまちづくりが進められないかという視点で視察しました。



愛媛県新居浜市 「新居浜あかがねポイント事業」

地域内経済の循環促進や市民活動の活性化を目的に、買い物や地域活動、健康・環境分野の取組などでポイントが貯まり、市内加盟店で利用できる「新居浜あかがねポイント」事業を展開されています。従来は事業ごとに分かれていたポイントを統合し、専用カードやスマートフォンアプリを活用して利便性を高めることで、市民にとって使いやすい仕組みづくりを進められてきました。近年は物価高騰対策として還元キャンペーンも実施され、地域消費の下支えにもつなげられています。こうした新居浜市の取組について、事業導入の経緯や制度設計、行政施策との連動、地域経済や市民参加に与える効果などを調査し、本市における地域活性化や市民参加を促す施策の参考とするため、視察しました。



愛媛県今治市 「クリーンセンター『バリクリーン』」

今治市のクリーンセンター「バリクリーン」は、平時のごみ処理施設としての役割に加え、災害時には避難所や災害廃棄物処理の拠点として機能する防災面でも重要な施設です。最大320人が7日間避難できる備蓄機能を備えるほか、非常用発電機や地下水揚水設備により、停電時や断水時にも対応できる体制が整えられています。バリクリーンが持つ防災拠点としての役割や、災害時を見据えた施設整備、運営体制について学び、本市の防災力向上への参考のために視察しました。

その他の会派活動

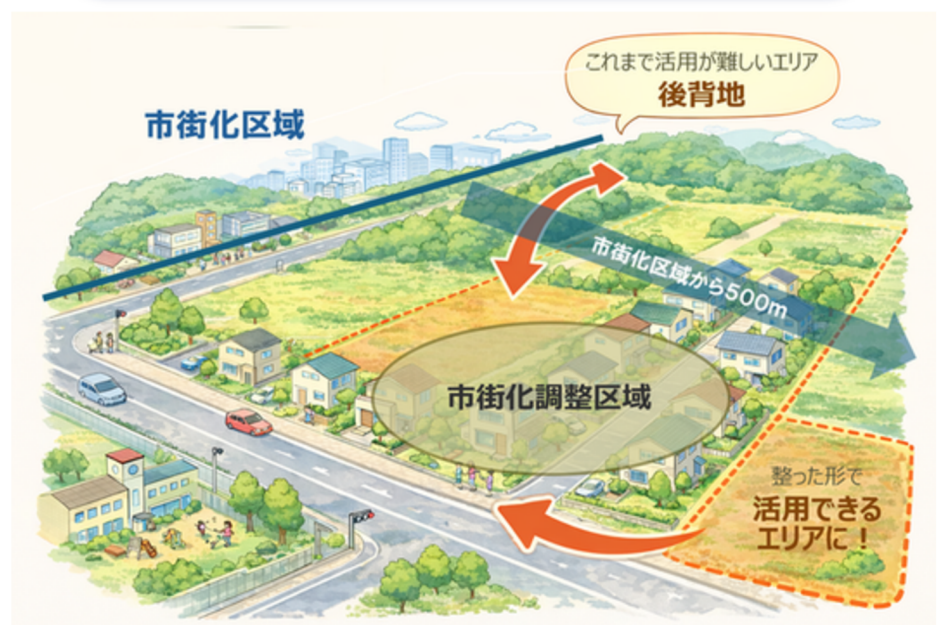
「草津市市街化調整区域における地区計画制度運用基準」の改正に関する勉強会



草津市の市街化調整区域における地区計画制度運用基準の改正について、会派として内容をしっかり把握するために開催しました。今回の見直しは、今後の宅地開発や企業立地、土地利用の方向性に関わる重要なものであり、市民生活や地域のまちづくりにも影響することから、改正の背景

や考え方、今後想定される影響について理解を深めました。見直しの概要としては、人口減少対策や良好な住環境の形成を目的に、市街化区域に近い場所で戸建て住宅を中心とした整備を進めるための「市街化区域隣接型」が新たに設けられます。また、企業立地を進めやすくするため、「産業振興拠点形成型」についても接する道路の条件などが見直されます。あわせて、複数の類型を組み合わせた地区計画を可能とするなど、制度全体の整理や補足も行われます。当該改正は令和8年4月1日より適用されます。草津の将来のまちづくりに関わる内容として、会派として共通認識を持つ大変有意義な勉強会となりました。

市街化調整区域内の後背地も活用可能に



※掲載のイラストはあくまでイメージです

MORE INFORMATION

2月定例会に提出された意見書「非核三原則の堅持を求める意見書（案）」について反対討論を行いました

輝勢会は、本会議において、議案第2号「非核三原則の堅持を求める意見書（案）」に反対し、会派を代表して討論しました。非核三原則を遵守する考えは当然であり、核兵器廃絶を目指す理念にも異論はありません。しかし本件は、地方自治法第99条が想定する「地域の公益」に根差した意見書の枠を超え、国の外交・防衛に関する結論を地方議会から求める性格が強いこと、また政府は非核三原則を政策上堅持する方針を示しており、改めて賛同を求める実益が乏しいことから、反対しました。採決の結果、本意見書（案）は否決となりました。